

【NEWS RELEASE】

2021年4月30日

各位

株式会社三井住友銀行

医療法人景雲会に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、医療法人景雲会（理事長：村田 憲一）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、医療法人景雲会については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 最先端治療（サイバーナイフ手術）とリハビリの提供を通じた、医療の質向上への貢献

目標3 すべての人に 健康と福祉を	3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。
目標9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.5 2030年までに、イノベーションを促進させることや100万人あたりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとする全ての国々の産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力を向上させる。

② リハビリでの自立動作支援ロボットの導入による、患者の歩行機能回復の促進、介護従事者の労働環境の改善

目標3 すべての人に 健康と福祉を	3.8 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスおよび安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。
目標8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性および女性の完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



グループ施設一覧



サイバーナイフ



外国人患者来院

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。